

事業名：学生保健サポーターによる地域ボランティア体制の構築

保健学研究科保健学研究・教育センター地域保健推進室の企画により、保健学研究科・保健学科の事業として実施

学生教育と地域貢献の一体化

看護学講座

生体情報検査科学講座

リハビリテーション学講座

教育・指導

調整・支援

助言

学生保健サポーターの養成

対象：4専攻1年～大学院生の希望者

内容：年6～7回の講義・演習

地域におけるボランティアの理解、高齢者、障害児・者、子どもの理解、コミュニケーション技術等、ボランティア活動、地域活動支援に必要な知識・技術を、学年や経験に応じて段階的に教育

指導者：保健学研究科教員、社会福祉協議会、行政関係等

教育の位置づけ：学部1年からの早期参加を促すことで、今後の学習に活かすことができる。講義で学んだことの実践の場として活用できる。先輩サポーターから後輩サポーターへのピアサポートにより、主体性を育成する。

・既存のネットワークを活用：地域機関に就業している卒業生・大学院在校生・修了生の協力・群馬一丸GPの履修証明生の協力(看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士等の実践者・教育研究者)

前橋市社会福祉協議会との連携・協働によるボランティア活動の実践

<社会福祉協議会>

- ・ボランティア募集情報の提供
- ・活動の場の提供、技術支援

<学生保健サポーターによる活動>

<学生企画による高齢者サロンの開催>
地域の公民館等で、高齢者を対象に年2回程度開催。交流、体操、レクリエーション等

<住民の要望に応じたボランティア活動>
前橋市社会福祉協議会の仲介により、住民主体の高齢者サロンや子ども食堂への協力、その他住民の要望に応じた活動展開

修了生ネットワークと在校生との交流事業

協力・協働

地域包括支援センター、子育て世代包括支援センター、自治会役員、民生委員、介護予防サポーター、保健推進員、ボランティア等住民組織

学生主体のボランティアグループへの発展

地域交流サロン、地域活動への参加・交流、日常生活支援の企画・実施等

学生間のピアサポート

大学院修了生と在校生との交流を図り、修了生の技術支援・協力によるボランティア活動の質向上

群馬県 前橋市

情報提供、地域住民との連絡調整、広報等の支援・協力

期待される効果 ①地域高齢者の介護予防、孤立予防、QOL向上の場の提供 ②子育て支援、③低学年の学生のearly exposureの場と高学年が低学年を指導することで学年を超えた地域保健医療に貢献できる専門職業人教育の充実、④学生の互助精神の醸成、⑤保健学研究科の専門性を活かした地域貢献事業としての地域へのアピール、⑥保健学研究科、自治体、住民組織とのネットワーク構築、⑦市内・県内の互助の啓発